

東能勢中だより

有^{ゆう}(徳不孤必有隣)隣^{りん}



平成22年(2010年)4月号 No. 179

※標題の有^{ゆう}隣^{りん}：論語の里仁編の中の言葉

「徳のあるものは一人でなく、必ず仲間ができる。」という意味です。

本校正門前の花壇に、植えられたパンジーのかたわらに、チューリップの芽がでているのを見つけました。自然は春の季節を迎え、学校は新年度を迎えました。保護者の皆さまには、本年度も本校の教育をご理解いただき、ご協力をよろしくお願いいたします。

Try (トライ) and Challenge (チャレンジ)

生徒の皆さん。入学・進級おめでとうございます。

中学校はより専門性を学ぶところです。それぞれ専門の教師が担当します。新しい学習の世界が広がります。苦手(にがて)だなどと思う教科にも、新年度は新たな思いでチャレンジしてください。

中学校では、それぞれの専門教科の先生に、いろいろなことを聞いてください。学ぼうとすればするほど学習の門は大きく開かれます。学問は最初からすべてみえるものではありません。わからないのが当たり前です。自分がそれをわかろうとすることで、自分の可能性が広がってくるものです。口をあけて待つのはやめましょう。手を広げて、載(の)せてくれるまで待つのはやめましょう。自分で掴(つか)みとれ!自分で嚙(か)みつけ!そんな気迫(きはく)でいろいろなことに向き合おう!!そうして掴(つ)みとらないと、本当の自分の知識にはなりません。自分のものになりません。チャレンジ、本当にチャレンジしてみよう。自分なりのチャレンジでいいので。

それから、基礎を大切にしよう。基礎的な学習をコツコツとこなしていく努力が必要です。コツコツとやり続けていくことが、大きな進歩につながります。その努力が報(むく)われるのが人間の社会です。努力はだれかが見えています。必ず見えています。それはあなたの周囲にいる人です。先生方は、きっちりと評価します。それを信じて、学校での生活を作っていくてください。

人間は一人では生きていけないものです。支え支え合うこと、認め認め合うことによって成長していくものです。だから君の存在価値があるのです。だから君は素晴らしいものなのです。中学校でも、よいクラス集団・学年集団・クラブでのまとまりを作っていくてください。

この春の出発の時に、自分の目指す未来への希望の種子(たね)を播(ま)こう。この一年間、その種子(たね)を育てよう。未来を掴(つか)みとろうとする者を、未来は引き上げてくれます。あきらめるな!!

これからの君たちの一年間の成長に期待します。